

# 西尾市事務事業評価シート

事務事業No.	48	事務事業名 (中事業名)	佐久島活性化事業 ( )						
予算科目	02	01	14	大事業	02	中事業	00	担当課名	佐久島振興課
総合計画施策コード	114			事務開始年度	平成13年			備考	
根拠法令等	島の地域資源の発掘や活用を推進し、活性化はかる						作成月	令和元年7月	

## 事業の概要

### ●事業の内容【PLAN】

事業の目的 (どうするために)	佐久島固有の資源(自然、風土、歴史、産業)を発掘・研磨し、経済的発展、交流人口の増加、定住人口の確保など島の活性化を推進する。
事業の対象 (誰(何)のために)	佐久島住民(以後島民と言う)と観光客及び島おこしに興味のある者
事業の概要 (具体的に何を)	佐久島固有の資源を引き出すためのアートプロジェクト事業を実施し、アートによる島おこしを展開する。また、島民による島おこしの団体「島を美しくつくる会」との協働により、アマモの移植活動、黒壁運動、古墳整備等島外のボランティアと交流しながら島の活性化を図る。こうした島内で開催されるイベントや行事等の情報発信をするため、ホームページ委託事業も実施し、島の魅力などの情報発信を行う。

### ●事業費の内訳【DO】

項目	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(予算)	
事業費①	23,262,385円	20,470,722円	21,327,000円	
事業にかかる人工	2.50人	2.50人	2.50人	
事業にかかる人件費②	17,761,530円	17,918,520円	18,085,562円	
総事業費③(①+②)	41,023,915円	38,389,242円	39,412,562円	
総事業費内費 の ③	使用料・手数料	50,600円	43,800円	48,000円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	40,973,315円	38,345,442円	39,364,562円
その他	0円	0円	0円	
H30 総事業費③の対前年度差額	-2,634,673円	H30 総事業費③の対前年度比率	-6.42%	
事業費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事業費の中の 主な支出項目 (H30決算額)	項目	概要	金額	
	委託料	三河・佐久島アートプラン21(通年事業)	12,825,000円	
	委託料	ホームページ更新業務委託料	1,563,192円	
	補助金	佐久島活性化事業補助金	2,000,000円	

### ●指標の設定【DO】

(事業の実施にあたり、どれだけの成果(成果指標)を得るために、どれだけの活動(活動指標)をするか。)

成果指標	○事業で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)事業の目的と						
	具体的な指標	西尾市渡船利用者数(島民、定期券除く)					
	指標の推移	平成29年度	単位	平成30年度	単位	令和元年度	単位
	目標値	107,000	人	107,000	人	107,000	人
	実績値	103,668	人	101,856	人	*****	
活動指標	○事業全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	アートプロジェクト等のイベント件数、島の風だより掲載、ホームページの更新件数等					
	指標の推移	平成29年度	単位	平成30年度	単位	令和元年度	単位
	目標値	134	件	210	件	179	件
	実績値④	210	件	179	件	*****	
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
		195,352円		214,465円		*****	

●担い手の点検と事業の終期【DO】

事業の委託状況	一部委託している	委託の内容	アートプラン21、ホームページ等
事業の終了時期	未定	事業の終了時期が未定の場合、事業の抜本的な見直し時期	未定
事業の終了時期が未定の場合の理由	交流人口は以前より増加傾向だが、定住人口の増加に繋がっていないため、転入者増加による人口の増加を目指す。		

評 価

●個別評価【CHECK】 ◎:適正 ○:概ね適正 △:適正ではない —:いずれにも該当しない

評価項目	評価項目		評価項目		
	評価	評価	評価	評価	
妥当性	市が関与することが適切か(委託・民営化は不可能)	○	効率性	単位コストは、前年を下回っているか	△
	国・県・市・民間との役割は適切か	○		事業実績や目的に対して費用がかかりすぎているか	○
	変化する社会情勢の中で、事業の意義は失われていないか	○		委託等、手段を変更してもコスト削減は期待できないか	◎
	事業に対する市民ニーズを把握しているか	△		事務の手段を工夫しても業務時間は短縮できないか	○
有効性	事業の目的は達成できているか	○	公平性	受益者に偏りはないか	△
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	◎		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	◎
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	○		受益者負担の割合は適切か	○
	他市町村と比べて上位に位置しているか	—		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	○
評価の総合的なコメント	観光客数については一定の成果が出ているが、定住人口の増加に大きく繋がっていない。今後は島に対する関係人口も増やしつつ、継続していきたい。				
事業の方向性	(評価)	1 今後も、ほぼ現行どおり(事業の内容・規模・手法)進める			
	(理由)	今後も島民と島外ボランティアによる環境保全活動を維持することで、双方との交流を図り、島の魅力を感じてもらい、また、島に係る関係人口も増やしつつ定住促進に繋げる。			
民間委託又は市民協働拡大の方向性	島の活性化に取り組む任意団体「島を美しくつくる会」との協働により事業の推進強化を図る。				
事業全体の課題	観光客の増加に伴い、飲食店等の繁忙期受け入れ体制が飽和状態となっている。また、レンタル自転車利用者のマナーやごみ処理の問題なども課題になっている。				

●近隣の状況【CHECK】

同類事業の近隣市の実施状況	漁業体験プログラム、キッズアドベンチャー、人とイルカとのふれあい事業、島弘法巡り、郷土学習、観光ガイドなどを行っている。事業主体は民間または島民で行っている。
---------------	---

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	一時のブームに頼らず、本来の「島らしさ」を大切にしながら、定住促進を継続していくことが必要。
-----------------	--

●改善案【ACTION】

今後の改善策	平成29年度よりサツマイモ栽培を行い、栽培したサツマイモを「サクのいも」としてブランド化するため、新たな特産品の開発に取り組んでいる。平成30年度は芋焼酎「咲島」の販売や島内でサツマイモメニューが食べられる「サクのいも満喫キャンペーン」を展開。サツマイモを軸にした事業を展開し、遊休農地の解消と移住定住を促進する。
--------	---

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	交流人口の増加と定住人口を確保することは似て非なるものだと感じます。定住していただくために「土地と家を安価に提供する」とか「渡船料金を〇年間無料にする」などの思い切った施策が必要ではないでしょうか。
----------	---